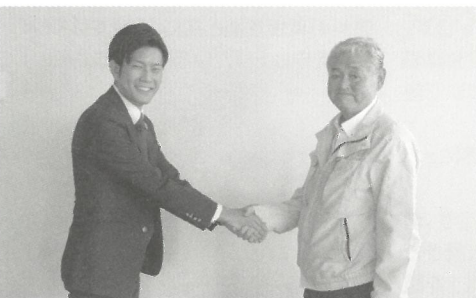


SUGISEKI
PRESENTS

みらい通信

(株)スギセキは、
建設会社の環境への
取り組みを応援します。Talk Room
005号室インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

エコアクションによって環境へのマニュアルが出来たことで、より明確な指示やコミュニケーションが取れるようになったという話が印象的でした。その中で、現代の若者にはマニュアルを用意してあげることが大事であるという話は、人材育成においてとても参考になりました。また、建設業は環境破壊者というイメージを持たれるが、環境を維持・良化させているんだという話は、常に品質や環境対策にしっかりと取り組んでいるからこそ断言できる力強い話でした。



企業にとってのチャンス

石福建設(株) 代表取締役 望月克政 氏

愛宕 GTL燃料を導入していただいています。

望月 重機への影響など軽油と変わらぬ新燃料でCO₂削減効果が高いと聞いて導入しました。ほとんどのメーカーが保証しており支障がありません。GTL採用現場ののぼり旗も立てさせていただき、地域と発注者へのPRにもなるし、さらにCO₂対策になる。業界を挙げて積極的に活用すべきです。

愛宕 エコアクションなど、環境面の取り組みについて教えてください。

望月 まず、ISO9000を1999年にキックオフしました。前社長の時、私が担当責任者でした。次に、14000シリーズを考えた際、少々ハードルが高いなということで2008年からエコアクション21に取り組んでいます。われわれは営利企業ですから、経営の手かせ足かせになっては意味がありませんが、ISO9000やエコアクション21には多大な経営的メリットがあります。

若い社員はマニュアル世代と言われますが、何にどう取り組んでいくかを具体的に明示した方がいいようで、会社のルールが確立されてきました。定期的な指導は行いますが、口うるさく言いません。車両には燃費目標を、部屋の照明スイッチの横には「消灯確認」の注意書きを貼っています。社員が自然と意識するようなやり方で、私も車両燃費や節電報告書には目を通します。こうした取り組みは、企業にとって一つのチャンスであり、社会に認めていただけるもの。社員のモチベーションもアップするし、上手に活用したいですね。ただ、SDGsは、動向を静観している状況です。参考文献を読むと、基本はISO9000やエコアクション21と同じ。取り組むべきものにはすでにしっかり取り組んでいる自負もあり、あえてトップダウンでSDGsという御旗を掲げずともいいのかなという判断で



す。

愛宕 静岡建設業協会の技術委員長も務められていますが、協会の環境意識はどうか。

望月 建設業は、環境破壊者と見られがちですが、それは違います。河川・砂防工事の山腹工、擁壁工などにしても、人々の安全を守るだけでなく、自然を保護している側面もあるのです。協会は、漁業協同組合と共に稚鮎の放流を行い、巴川の清掃や安倍川クリーンまつり(河川清掃)などのボランティアを行っています。社会貢献として母子家庭を対象とした親子見学会や、地域の有事に備える防災訓練も恒例行事です。環境を守り育てつつ、地域の安全・安心にも寄与している業界だと思います。

Talk Room
006号室インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

「新しいモノが好き」飯田社長のその言葉に会社としての活力と、GTL燃料や水中ドローンをいち早く導入した決断力が表されていると感じました。また、そうした取り組みを社内外にアピールすることは企業価値の向上ならびに社員のモチベーションアップ、更には就活にも繋がるという話は大変共感するところでありました。社員さんへの健康支援もとても手厚く、環境に対してはもろろのこと、社員さんへの気遣いの素晴らしさにも感動を受けた対談でした。



地元で愛される会社

ダイエー工業(株) 代表取締役 飯田昌昇 氏

愛宕 簡単にお仕事をご紹介します。

飯田 私共は田子の浦港管理事務所の仕事を中心。消波ブロック関連工事や、脱水ケーキを用いた公園造成、今年からは富士砂防の土と浚渫処理土を混ぜたリサイクル混合土を作るなどしています。

愛宕 GTL燃料はどのような経緯で使っていたのか教えてください。

飯田 あるゼネコンさんの下請けに入った時、「二酸化炭素排出量を大幅削減す

る燃料があるから使用してほしい」と言われ、初めて存在を知りました。燃焼時、軽油対比でCO₂を8.5%削減と聞き、自社の元請け工事の現場で活用してみたいと思ったのが最初です。

愛宕 使用したご感想はいかがですか。

飯田 軽油と重機性能も遜色がないなら環境により選択をするべき。重機のメーカーも「問題なし」との回答で、現場から性能への苦情もないので、安心して利用の幅を広げています。GTLの使用現場と知れるのぼり旗もご用意いただき、燃料使用量とCO₂削減量を提示いただけて発注官庁へもアピールできます。エコアクション21に取り組んでいますが、水や電気の節減には限界もあり、使用量が最も多い軽油燃料でCO₂削減量が示せるという効果は大きいのです。

愛宕 エコアクション21だけでなく、SDGsにも取れ組まれています。どのような思いで始められたのですか。

飯田 エコアクション21は、今はないグリーン購入などと共に、経営審査事項の評価のために始めたようです。エコアク

ション21は10年を経過していて、地域での取り組みは早い方だと思います。一企業としての社会への責任。環境CSRというような観点から、SDGsなども含めて大切な取り組み。弊社は下請け中心で、後発の会社ですので、こうした努力により地元で愛される会社になれたらと考えています。

愛宕 他にも取り組まれていることは。

飯田 営業車はハイブリッド車へ、重機は排出ガス対策型の新機種へ更新しました。事務所も、省エネ空調への更新や全照明のLED化などを完了しています。現場では、省力化を期してマシンコントロール、マシンガイダンス、ハンディ型スキャナーなどを購入、ICT施工にも力を入れています。また、災害時への対応として、海洋へのオイル流出時の対応訓練なども行っています。今年は、健康経営優良法人認定制度の登録も目指すなど、毎年目標を決めて取り組んでいます。地域に認められる会社になれば、社員のモチベーションアップや就活学生へもアピールできます。

NETIS 登録技術
GTL燃料
燃焼時 CO₂ 8.5%削減☎0120-217-517
株式会社 スギセキ